

インドネシア・アチェ津波ミュージアムと協定を締結しました(2016/11/22)

テーマ：部局間協定, MOU, デジタルアーカイブ
場所：インドネシア, バンダ・アチェ市, Hermes Palace ホテル

2016年11月22日にインドネシアのバンダ・アチェ市の第10回 AIWEST-DR2016(The 10th Aceh International Workshop And Expo on Sustainable TSUNAMI Disaster Recovery) の中で、インドネシア・アチェ津波ミュージアムと災害科学国際研究所との部局間協定の署名式を行いました。署名式は、災害科学国際研究所の今村文彦所長及びアチェ津波ミュージアムを所管するアチェ州政府文化観光局の Reza Fahlevi 局長との間で行われました。

翌日には、アチェ津波博物館において、連携協定の手交式が行われ、災害アーカイブ研究分野の柴山明寛准教授、セバスティアン・P・ボレー助教から、アチェ津波博物館のアル・ミラ・ヤンティ館長代行に署名された協定文書が手渡されました。

協定内容には、Digital Archives of Tsunami in Aceh (DATA) Project と東日本大震災アーカイブプロジェクト「みちのく震録伝」が国際共同研究を実施し、相互のデジタルアーカイブの向上を目指すこと、更に、自然災害アーカイブの研究及びアーカイブを利用した防災教育、アーカイブを利用した災害リスク軽減に関する研究、一般市民の意識と知識の向上の協力などを実施することが盛り込まれています。



部局間協定締結の様子

文責：ボレー・セバスチャン、桜井愛子、柴山明寛（情報管理・社会連携部門）